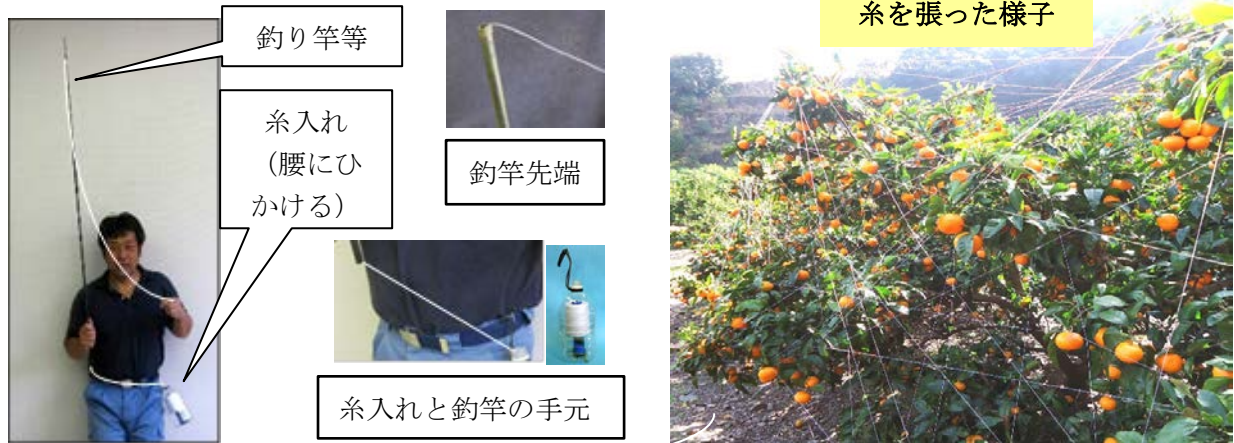


糸を使ったウンシュウミカンのヒヨドリ食害対策

利用対象：ミカン栽培農家

ウンシュウミカンではヒヨドリに果実食害を受けます。そこで、簡易な道具を用いた糸による食害防止方法について検討しました。

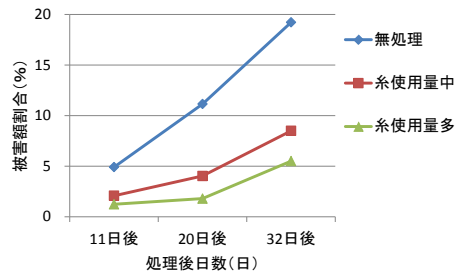


釣竿を利用して糸を設置する方法

- 糸入れを準備します。糸入れは2ℓペットボトルなどを切断して作るとよい（底径10cm、高さ24cm）。腰のベルトなどに下げられるように工夫します。これにより糸の出がスムーズになります。
- 糸はミン糸（5,000m巻き太さ60番か90番）を使います。白い糸が見やすくて張りやすい。
- 糸入れの先から糸を出して、釣竿等、芯に空洞がある棒に手元から竿の中に糸を入れて先から出します（細い針金などを利用すると糸を通しやすい。竿の長さは2m程度、先端径約5mm、手元径約10mm程度が使いやすい）。
- 釣竿の先端から出した糸を樹に縛り、竿を左右上下に振って、糸を樹にひっかけながら張ります。最後は糸を樹に縛ります。

ウンシュウミカン成木樹における糸設置経費と設置程度別被害

処理区	単位樹冠容積当 たり糸使用量 (m/m ³)	1樹当たり 作業時間 (秒)	糸を張る経費(円)		
			糸代金	労賃	合計
糸使用量多	9.0	195	51	54	105
糸使用中	6.1	148	32	41	74
無処理	0.0	0	0	0	0



被害額割合は（被害額＋経費）の無被害時の販売額に対する割合（%）

糸の使用量が多くなる程被害が減少します。収穫が始まって周囲のミカンが減ってくると被害が増加してきますが、糸を張ることで無処理に比べ被害額割合が少なくて済みます。糸の量は、ヒヨドリの飛来数の違いによって調節します。せん定時には簡単に糸を除去できます。

お問い合わせ先	紀南果樹研究室 市ノ木山浩道、橋本真帆 中央農業改良普及センター 鈴木孝明	電話 05979-2-0008 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm	